

# 未来

筆者は、令和2年度卒業生の山口桃佳さん  
令和5年4月6日 第1号

新型コロナウイルス感染症の影響が3年以上続いています。そのような中でも郡山第一中学校生徒一人一人が、今できることに一生懸命に取り組み、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いを抱き、進路実現を果たしてほしいとの願いがあります。

「未来をあきらめない」「未来は変えられる」

文責 校長 宗形 俊二

## 学校経営方針「右手にロマン、左手にそろばん、心にジョーダンを」

4月6日に267名の新入学生を迎えて、全校生734名で郡山第一中学校の令和5年度がスタートしました。今年度で4年目となる私の学校経営方針といたしましては、「右手にロマン、左手にそろばん、心にジョーダンを」(子どもたちも先生方も夢を持ち、その実現のために与えられた財源で快適な教育環境を整備し、それらをバランス良く操作するゆとりを持つこと)で学校経営に当たってまいります。学校経営の五つの柱は次のとおりです。

- 1 安全確保 【危機管理意識の高揚】: 大切なお子様を預かる
- 2 学校は組織体 【共有と協働実践】: お客様に貢献する(お客様とは、生徒・保護者・地域等)
- 3 教師の資質向上 【共感と肯定】: 一生恩師と言われる誇りと自覚
- 4 笑い声の絶えない職員室・学校 【良い環境、良い雰囲気】: 楽しく仕事を
- 5 良い仕事 【教師自身の心身の健康】: 教師の元気は生徒の元気に結びつく

郡山第一中学校のすばらしき伝統・文化を「チーム一中」でしっかり守り、繋ぎ、発展させていきたいと考えております。そして、これからの予測困難な時代の中で、どのような変化にも的確に対応し、自立して生き抜いていくことができる資質や能力を育てていくことが、私たちに課せられた使命であり責任であると考えています。本校の新たな歴史への第一歩を力強く踏み出していくためにも、保護者や地域の皆様をはじめ、本校教職員が一枚岩となり、英知を結集して「想いを形に」していきたいと考えておりますので、どうぞ今年1年よろしく願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について(5月7日までの対応)

- 1 特に変更となる対策・対応
  - (1) マスク着用の考え方の見直し
    - ①生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とします。ただし、医療機関や高齢者施設等を訪問する場合など、マスク着用が推奨される場面においては、生徒及び教職員についても、着用を推奨します。
    - ②基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できなかつたりする生徒もいることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにします。生徒間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないように指導を徹底します。等
  - (2) 特にこれまでどおりの対策・対応
    - (1) 登校時の健康状態の把握(健康観察表等の活用)
    - (2) 出席停止(欠席にはならない)の扱い
      - ①生徒の感染が判明した場合及び生徒が濃厚接触者に特定された場合
      - ②発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合
      - ③登校時には異常がなく、風邪症状(発熱や咽頭痛、咳等)で体調が悪くなった生徒に対して学校生活の継続が困難であると判断された場合

※以上が5月7日までの対応策となりますので、それ以降については、市教委からの指示を待って、お知らせいたします。